政党としての大道を歩む 日本共産党

会派編成

新・議会、顔ぶれ変われど、中身変わらず

市議選後、議会の会派構成が変わりました。日本共産党、公明党は現状維持。民主党やみんなの党、社民党は会派構成の3議席に満たず無所属に、また市民クラブ・まつど未来から1人ずつが松政クラブに移籍しました。市民力という新会派も誕生しました。

会派構成が変わったため前向きの変化が期待されましたが、市民からの陳情や国・県に対する意見書などはあいかわらず「反対」「否決」が多く、必ずしも前向きとは言えない状態です。政党・会派の都合優先ではなく、市民の願い第一の議会への転換が求められます。

議案

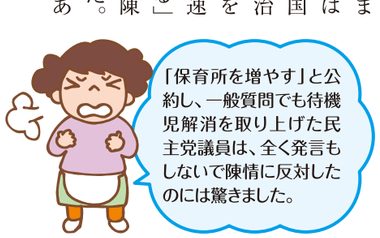
市政チェック15件の議案審査に全力!!

一般会計補正予算については、子どもたちの予防接種（ヒブ、肺炎球菌、子宮頸がん）の無料化など、党市議団が求めてきた施策が盛り込まれたことから賛成しました。一方で貝の花保育所を「完全民営化」するとともに、老朽化したパンダ保育所を廃止する議案について、党市議団は「『すべての子どもに豊かな保育を』と願う市民の思いと逆行する」と反対。しかし、自・保、公、民、みんな、市民力などは「民営化促進」に賛成しました。同時に、任期付き職員の採用の特例をつくる議案や今後10年間の松戸の方針を定める「後期基本計画」については審議が不十分で継続審査となりました。

陳情

市民の切実な願い 自民・公明・民主・みんなの党が否決!

「保育所の待機児解消は、公立保育所への国の補助金復活で」と求めた、千葉県保育問題協議会から出された陳情に対し、市は「補助金廃止の影響は全くない」と言いながら、経費節減を理由に公立保育所の民営化を促進しています。わが党市議団は「補助金廃止で全国の6割を超える自治体が保育所運営費を削り、民営化が急速に進められている」と厳しく指摘し、陳情に賛成しました。他に2件の陳情がありました。



意見書

共産党が提出した意見書7件

「農業の再生、TPPへの不参加を求める意見書」
「北朝鮮による砲撃に抗議する意見書」が可決!

「農業」の意見書は、「TPP（環太平洋連携協定）に参加することになれば、農作物の輸入自由化は避けられず、米の生産は9割減少、食料自給率は40％から13％へ低下。350万人の雇用が失われる」として、TPPへの不参加や貿易ルールの確立などを求めたもの。

「北朝鮮」の意見書は、武力攻撃に厳しく抗議するとともに、外交的・政治的な努力によって解決するよう求めたものです。

他の5件は、自民・保守、公明、民主、市民力、みんなの党などによって否決されました。

課題が山積、市立病院建て替え案

この間、市長、病院管理者、病院長の3者会談で、①現地建て替えの可能性を検証する。②現状の機能・規模を維持する。③450床にこだわらない、の三点が確認されています。

「市立病院建替計画検討委員会」では、今後「3つの現地建替案」について費用や工期を含め議論を深めて「案」を絞り込むとしています。

ところが、市立病院の「規模・病床数」の意見の一致がみられていません。

病床数をどのくらいの規模にするのかは病院の経営上きわめて重要なことで、第3次救急医療、小児医療などの機能を維持するためには少なくとも600床が必要です。これは病院関係者や医師会、市民、市議会も含めた共通の認識となっていることです。また「案」は、費用や工期が大幅に「増額・長期化」が見込まれているなど、課題が山積です。

さらに重大なのは、国・県の言いなりに「市立病院は赤字」だから「民営化を検討」していることです。「赤字」の要因は、国の政策によることが明らかではないでしょうか。

今、市がやるべきことは、国・県に対して必要な補助の増額を求めることと、あくまで「公設・公営」をつらぬくことです。

あなたのご意見をお寄せください
▼電話、FAX、メールのあて先は表面にあります。

11・12月議会のおもな議案に対する各会派の態度

あなたの気持ちにぴったりな会派・議員は？

2010年11月・12月市議会 主な審査結果一覧表
○：賛成　×：反対　（原案に対しての態度）
34件の議案、動議、許可、陳情、意見書に対し、30件に賛成、4件に反対しました

| | | 会派 | 日本共産党 | | | | | 公明党 | | | | | | | | | | | | | | 松政クラブ | | | | | | | | | | | | | |